

(仮称) 仙台空港 600 万人・5 万トンの実現サポーター会議 (案)

平成 25 年 2 月 12 日

宮城県

1 背景

・「仙台空港等活性化検討会・臨空地域等活性化検討会（以下「検討会」という。）」は、昨年 2 月、民間の知恵及び資金の活用による仙台空港等のより良いあり方や、臨空地域等における民間投資を活用した観光振興策や物流機能の強化に関する情報の発信と共有・意見交換、検討等を行うことを目的に設置された。

・これまで、民間事業者が自主的に仙台空港等の活性化、国際物流の拠点化、周辺開発について研究会を立ち上げ、その検討結果を報告してきたほか、これらの検討結果等を踏まえ、県では「みやぎ国際ビジネス・観光拠点化プラン」や「仙台空港の経営改革に関する宮城県基本方針（以下「基本方針」という。）」を策定した。

・そのため、検討会の当初の目的は概ね達成され、今後は、基本方針で掲げた、仙台空港の将来の旅客数年 600 万人、貨物取扱量年 5 万トンという倍増目標の実現に向けて、官民あわせて具体的に取り組んでいくことが重要となっている。

2 設置目的

仙台空港の民間運営委託に向けた地元の機運醸成と仙台空港の旅客・貨物倍増の実現に向けた取組等について情報発信・共有することを目的に「(仮称) 仙台空港 600 万人・5 万トン実現サポーター会議」を設置するもの。

3 構成メンバー

会議は、国、県、関係市町村のほか、仙台空港の将来の旅客数 600 万人・貨物取扱量 5 万トンの実現につながる取組を行っている又は行おうとする企業・団体等で構成。

4 会議内容

会議では、構成メンバーの取組状況、国の空港経営改革の動向及び先進事例等の報告等を行う。

5 事務局

宮城県

6 今後の予定

第 1 回目は、国の空港民営化法案の成立が見込まれる 6 月頃の開催を予定。

仙台空港等活性化に係る検討フロー

平成25年2月12日
宮城県

(仮称)仙台空港600万人・5万トンの実現サポーター会議

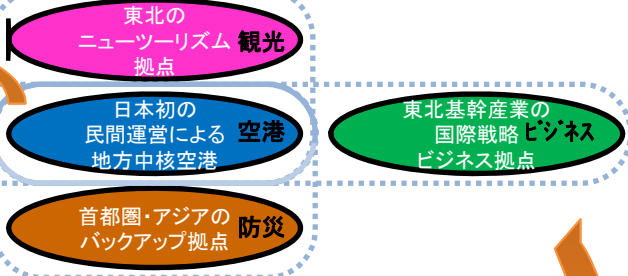
目的: ①仙台空港の民間運営委託に向けた地元機運醸成
②仙台空港の旅客・貨物増の実現に向けた取組等についての情報発信・共有
構成: 仙台空港600万人・5万トンの実現につながる取組を行う企業・団体, 国, 県, 関係市町村等
内容: 構成メンバーの取組状況, 国の空港経営改革の動向, 先進事例等の報告

発展

仙台空港の 経営改革に関する 宮城県基本方針

仙台空港の
民間運営
委託に向けた
県の基本的
考え方
10/15策定

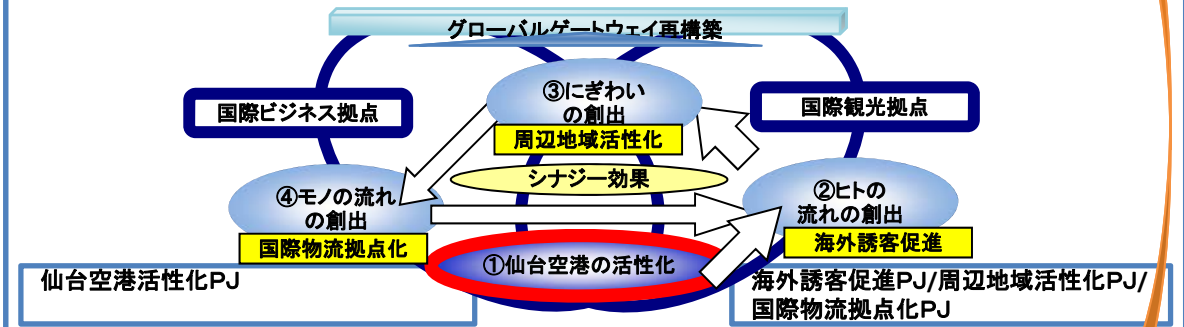
仙台空港等の将来像(素案) ～(仮称)仙台空港600万人・5万トンの実現構想～



将来像実現に向けたシナリオ

みやぎ国際ビジネス・観光拠点化プラン

7/17策定



プロジェクトの事業化に向けて
調査・検討業務を委託

プロジェクトの事業化に向けて
調査・検討業務を委託

仙台空港活性化調査事業
(トーマツ, 予算1,000万円国庫)
旅客・貨物潜在需要調査/3セク中長期事業計画検証/一体化スキームの検討 など

連携

仙台空港周辺活性化調査事業
(野村総合研究所, 予算1,000万円国庫)
仙台空港・周辺地域の将来像/周辺開発等の方向性・推進方策/開発促進業種事業者の立地可能性調査 など

情報発信と検討が目的

プレーヤー中心の構成



知事による5事業一体化について検討指示

※5事業: 滑走路, 旅客ターミナル, 貨物ターミナル, 駐車場, アクセス鉄道

仙台空港等のよりよいあり方を検討するという検討会の当初の目的は概ね達成。

H25～

H24

H23